

関わり合えるものを考えさせます。

最後に「子どもの文化づくり」という立場から。このことによって、学級としての文化を作り出すことにつながります。

その4 学習活動とのリンクさせてステップアップ

学習した内容を発展させる内容を係活動で取り上げさせるように仕組みましょう。そのような係を新しく設置するというのも考えてみたらおもしろいと思います。

2 特別活動 実践の課題～アンケートのまとめ その2

山口県内小学校の特別活動主任からいただいたアンケートの集計結果です。
各学校の実践上の課題その2です。

◇縦割り活動

- ・縦割り活動の活動内容がマンネリ化している。
- ・縦割り班の活動の時間がなかなか取れない。
- ・縦のつながりをもっと強くして、それぞれの学年の力を伸ばしていきたい。例えば、上学年は下学年のことを思いやり、集団をまとめる力を。下学年は、上学年から多くのことを吸収する力を。また、学校全体が仲良く協力する雰囲気をつくり、上学年は「下学年の手本となる行動をとろう」、下学年は「上学年の真似をしよう」「あんな上学年になりたいな」という意識をもっと持たせたい。

◇学習効果について

- ・全校集会で子どもたちが楽しみにしている毎年恒例のお楽しみイベント、特別活動や総合的な学習の時間を多く使って準備しているわりには学習効果がうすいという意見がある。
- ・児童の自発的、自治的な活動を通し、学校生活を生き生きと過ごすよう、集団の中で自己を正しく生かすことができる子どもの育成

◇育てる力について

- ・昨今の学力ブームにのっとなって特別活動が軽視されてきていること。特別活動でしか補えないものを明確にしてみんなに自覚してもらいたい。
- ・全校的に見て、話し合い活動が活性化しない。各学級における時間の確保と学級を離れた場での「話し合う力」を育てることが課題である。
- ・場に応じた態度や声の大きさなど、自分の力で表現できる力がつくるとよい。

◇子どもの活動

- ・子どもが主体となって作り上げる学校生活をどう創り出すか。
- ・活動のめあてに沿って、役割分担や協力ができる力の育成
- ・6年生がその運営を担うことが多いのは当たり前のこととして、下級生がお客さんになってしまう傾向がある。全員参加型の特別活動にしていくためにどういう取り組みが必要か。
- ・長年続いている活動が多く、児童はよく活動しているので活動自体に課題といったものはこれとってない。しかし、これまでの流れの中で今年もという活動になりがちなのでいかに児童が必要感をもって活動していくかが課題。

◇地域との交流について

- ・地域団体との交流が多くあり、大変ありがたく充実した活動ができているが、その反面打合せの時間などの確保が難しい。

それぞれの学校で、特別活動主任の先生方が苦勞されていることがわかります。読者の皆さんで、「この課題について、こういう解決方法がある」「うちの学校ではこういう取り組みをしている」というものがありましたら、情報をお寄せください。

3 メルマガ編集部からのお知らせ

◆次号の予告◆◇◆

第50号は12月中旬ごろ発行予定です。

次号からは、新しく集会活動についての特集を始める予定です。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は191名です。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。

登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。特活の実践を広げ、共有していきましょう。

12月といえばどの学級でも「お楽しみ会」的集会を行われる頃だと思います。みなさんの学級では、どのような「お楽しみ会」を行っていますか。そこで、「お楽しみ会」について、情報交換できたらと思います。先生方が取り組んでおられる実践を紹介してください。

本メールマガジンでは、今後、以下のようなことについての情報を交流し合いたいと考えています。どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

<実践投稿のヒント>

- 4月頃 出会いの演出・新学期の学級経営
- 5月頃 連休明けの学級経営のポイント
- 6月頃 室内でできる簡単イベント
- 7月頃 夏休み前の学級経営・1学期のまとめ
- 8月頃 子どもとのつながりを考える
- 9月頃 2学期スタートの学級経営・運動会と学級をつなぐ取組み
- 10月頃 意欲的に行事に取り組む手だて
- 11月頃 学級目標の見直し・音楽会と学級づくり
- 12月頃 お楽しみ会の在り方・年賀状と学級づくり
- 1月頃 新年の誓い・新たな気持ちを学級づくりに生かす
- 2月頃 文集づくり・6年生を送る会のシナリオ
- 3月頃 お別れ式の持ち方・先生の通知票

以下のアドレスまでよろしくお願ひします。

sugi-net@c-able.ne.jp

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（山口市立平川小）

津村元文（防府市立西浦小）

能勢雅子（山陽小野田市立高千帆小）

吉田哲朗（山口大学附属山口小）

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝